

### (3) スポーツ・レクリエーション系施設

#### 1) スポーツ施設

##### ■概要

本市では、市民のスポーツ意欲と余暇時間の増大に応じ、生涯教育の観点からスポーツ活動の充実・活性化、心身の健康の増進等を図るため、5つの主要なスポーツ施設を設置しています。

総合スポーツセンターは総合体育館と陸上競技場、渚市民体育館にはドームアリーナと弓道やアーチェリーに使えるスカイアリーナ、伊加賀スポーツセンターにはテニスコートと運動広場、体育館、サブリ村野スポーツセンターには、運動広場と体育館などを設置しています。

伊加賀スポーツセンター、サブリ村野スポーツセンターは、平成25年にリニューアルオープンしています。

王仁公園には、プール・運動広場・テニスコートなどが設置されています。

なお、サブリ村野スポーツセンター以外の施設は指定管理者制度を導入しています。



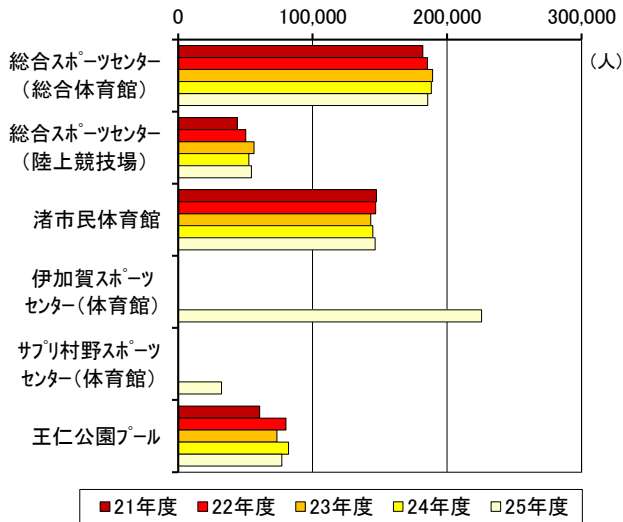
総合体育館

	基礎情報					コスト情報(千円)				収入 (千円)
	施設名	所在	施設形態	建築年	構造・階数	延床面積 (㎡)	維持管理 費用	減価 償却費	事業運営 費用	
1	総合スポーツセンター	中宮大池 4-10-1		S58	SRC4	10,999.61	48,544	59,560	53,490	32,824
2	渚市民体育館	渚西 3-26-10		H9	S3	5,973.97	20,452	66,807	40,728	17,152
3	伊加賀スポーツセンター	伊加賀西町 53-2		S55	RC4	14,516.68	33,968	45,965	22,813	22,543
4	サブリ村野スポーツセンター	村野西町 5-1	複合	S49	RC1	983.15	6,702	3,636	5,606	3,861
5	王仁公園プール	王仁公園 1-1		S49	S2	2,096.02	47,103	8,054	39,286	34,332

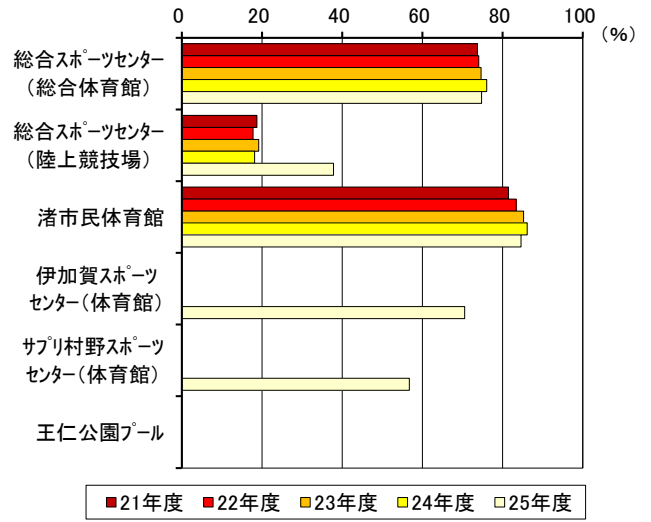
## ■利用の状況

総合スポーツセンター（総合体育館）では70%以上、渚市民体育館では80%以上の施設利用率となっています。伊加賀スポーツセンターでは約70%、サプリ村野スポーツセンターでは約60%の施設利用率となっています。

王仁公園プールの平成25年度の利用者数は77,066人となっています。



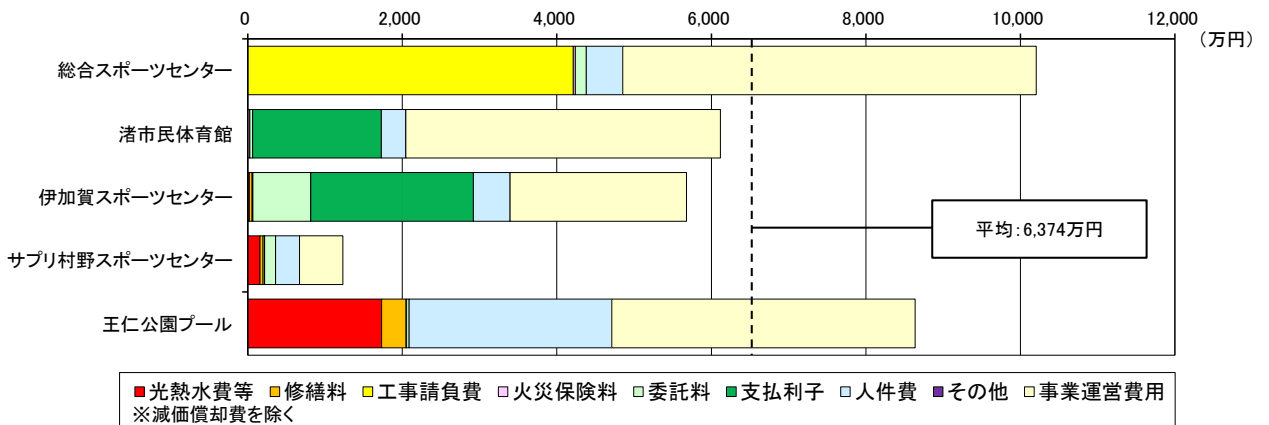
【利用者数の推移】



【施設利用率 (利用コマ数/利用可能コマ数) の推移】

## ■施設に関する費用の状況

総合スポーツセンターが1億203万円、王仁公園プールが9,500万円、渚市民体育館が6,118万円、伊加賀スポーツセンターが5,678万円、サプリ村野スポーツセンターが1,230万円となっています。

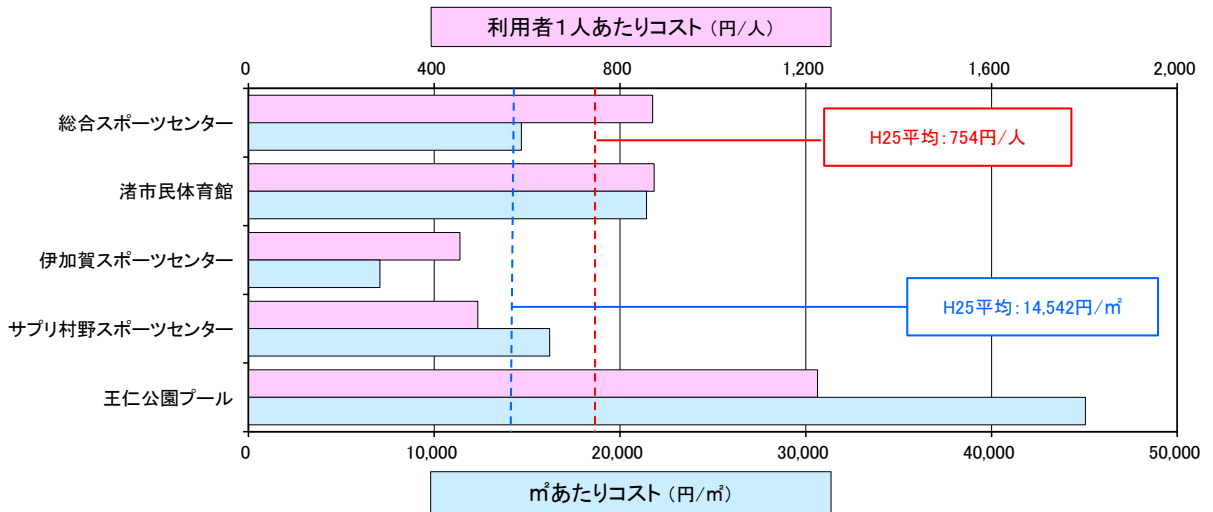


【施設に関する費用の内訳】

## ■単位あたりのコストの状況

施設に関する費用について、利用者1人あたりでみると、王仁公園プールが1,230円、渚市民体育館が870円、総合スポーツセンターが870円、サブリ村野スポーツセンターが490円、伊加賀スポーツセンターが460円となっています。

また、延床面積1㎡あたりでみると、王仁公園プールが45,100円、渚市民体育館が21,400円、サブリ村野スポーツセンターが16,200円、総合スポーツセンターが14,700円、伊加賀スポーツセンターが7,100円となっています。



【単位あたりの維持管理コスト】

## 2) レクリエーション施設・観光施設

### ■概要

市民ふれあいセンターは、京阪枚方市駅東口改札前の公共スペースを利用して平成6年に開設され、本市玄関口としての地理的メリットを活かし、市内観光資源や文化などの多様な情報提供を行う観光情報発信拠点です。

野外活動センターは、自然の中での野外活動などを通じて、市民の余暇の活用および自然に関する知識の向上ならびに青少年の健全育成を図ることを目的に開設し、400人が収容できるメインホールや冷暖房が設備されたロッジ5棟10室（1室5人）、フレッシュエア型テント20張（1張15人）などを整備しています。



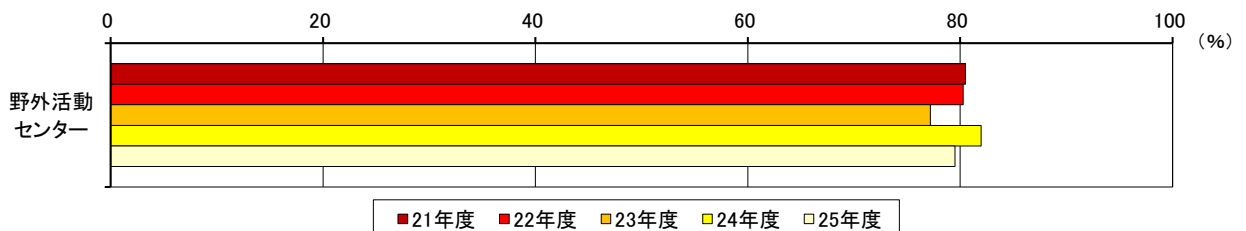
野外活動センター

また、府内最大級の反射望遠鏡を備えた天体観測棟では、四季おりおりの天体観測を楽しむことができます。

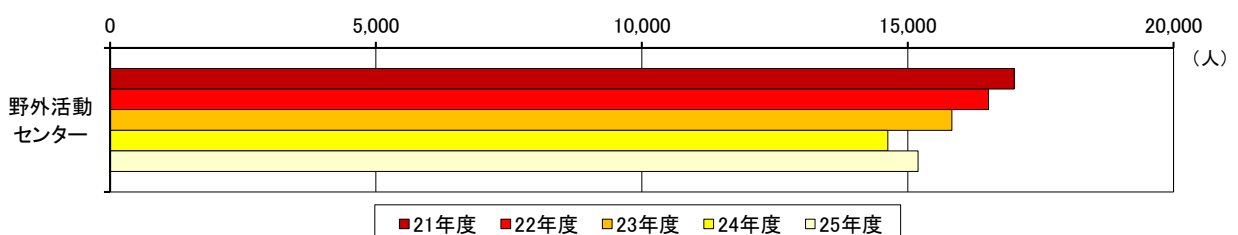
	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)	
	施設名	所在	施設形態	建築年	構造・階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	維持管理費用	減価償却費		事業運営費用
1	市民ふれあいセンター	岡東町 19-1	借家	H6	RC2	425.07	14,965	-	7,959	0
2	野外活動センター	穂谷 4550		H4	RC2	6,853.12	35,090	34,142	34,985	9,854

### ■利用の状況

野外活動センターの施設利用率は70%以上となっています。また、利用数は減少傾向にあります。



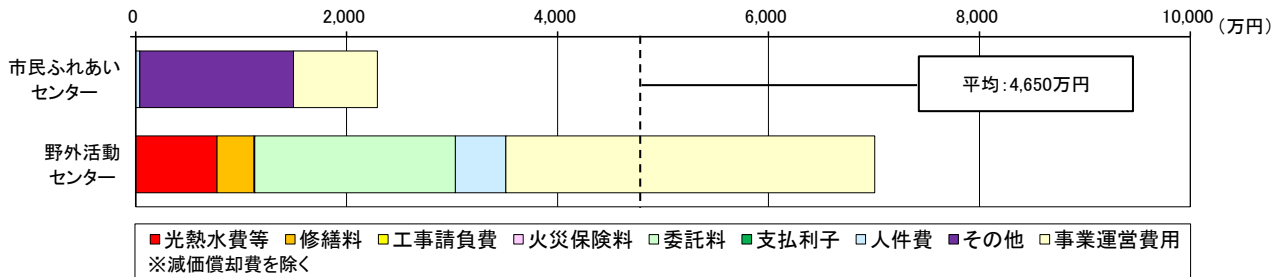
【施設利用率（利用日数/利用可能日数）の推移】



【利用者数の推移】

## ■施設に関する費用の状況

野外活動センターでは7,008万円、市民ふれあいセンターでは2,292万円となっています。市民ふれあいセンターでは市民室サービスセンターやパスポートセンターを含めたフロア全体の共益費などの負担金が1,496万円と過半を占めています。

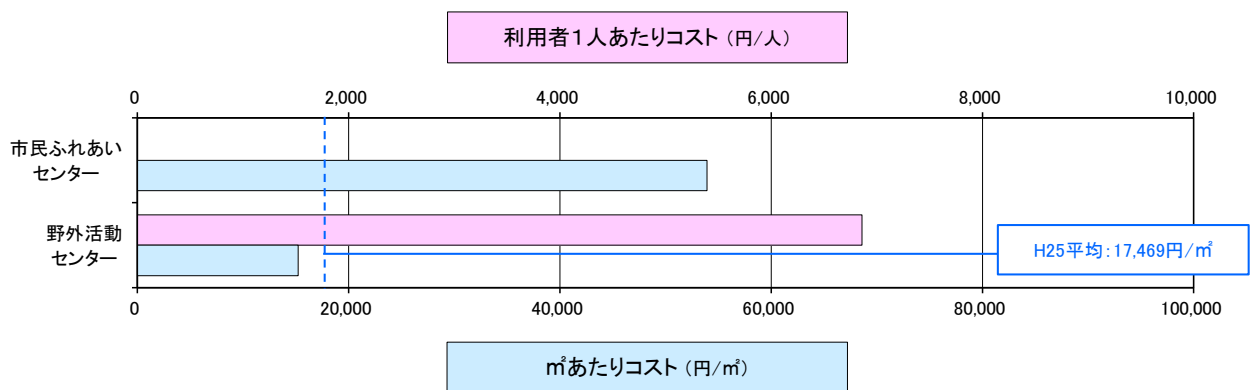


【施設に関する費用の内訳】

## ■単位あたりのコストの状況

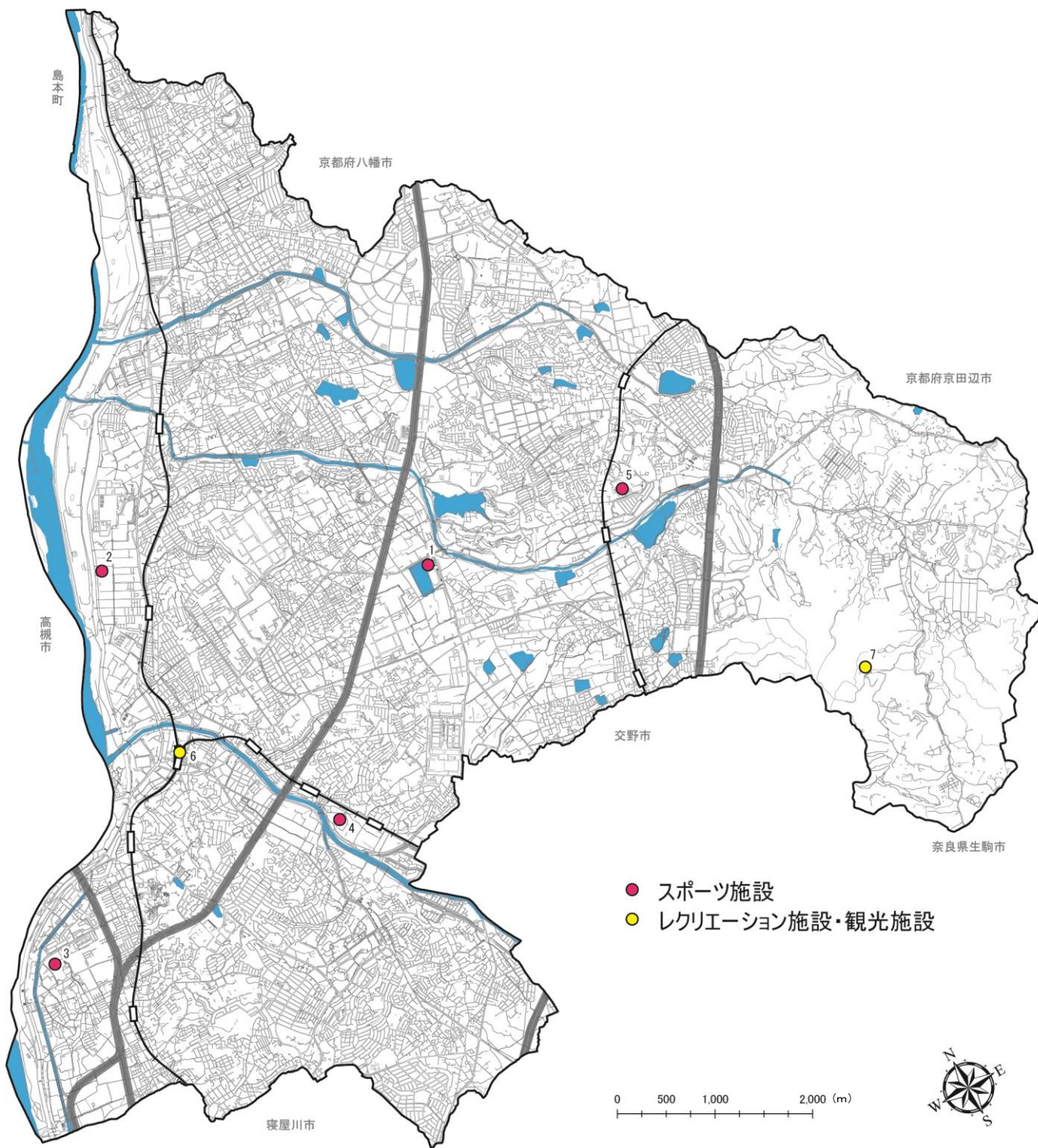
施設に関する費用について、利用者1人あたりで見ると、野外活動センターで6,860円となっています。

また、延床面積1㎡あたりで見ると、市民ふれあいセンターが53,900円、野外活動センターが15,200円となっています。



【単位あたりの維持管理コスト】

公共施設位置図：スポーツ・レクリエーション系施設



施設名	施設名	施設名	施設名	施設名
1 総合スポーツセンター	2 渚市民体育館	3 伊加賀スポーツセンター	4 サプリ村野スポーツセンター	5 王仁公園プール
6 市民ふれあいセンター	7 野外活動センター			